

神奈川県立伊勢原支援学校 第2回学校運営協議会 開催報告

本校の学校運営協議会を次のように開催した。

名称	神奈川県立伊勢原支援学校 第2回学校運営協議会
開催日時	令和5年10月26日(木) 9:30~11:00
開催場所	神奈川県立伊勢原支援学校 会議室
出席者	学校運営協議会委員8名 学校事務局8名
次回予定日	令和6年2月下旬(調整中)
問合せ先	神奈川県立伊勢原支援学校 副校長 吉田浩司 電話 0463-93-7928 FAX 0463-93-2457
議題	令和5年度 学校運営協議会 ・学校教育目標、グランドデザイン策定について 学校評価部会 ・学校評価(中間評価)について ・不祥事ゼロプログラム行動計画(中間検証) 切れ目ない支援部会 人権教育研究の進捗状況について 安全防災部会
審議(会議)経過	(副校長) 本日の流れについて、例年中間報告を中心に行っていたが、年間の取組については3回目で報告し、本日は、人権教育研究指定校事業と安全防災部会を中心に、時間を設けて進捗状況を説明し、皆さまからご意見をいただきたい。 【学校運営協議会】 (1) 校長挨拶 本日は、本校が今年度取り組んでいる人権教育研究指定校事業に関連する内容があるため、県の行政課より2名、オブザーバーとして本協議会へ出席してもらいました。 2学期は、コロナやインフルエンザなどが流行し、本校でも学年閉鎖などの対応を2回行った。現在は、通常通りに授業が行えている。 本日、分教室1年が宿泊学習に行く。今年度の本校での宿泊行事はこれで最後となる。現時点で、今年度の宿泊行事も問題なく実施ができている。 現在、学校教育目標について校内で検討している。4年に1度、見直すこととなっている。「共生社会の実現」「就労支援」「交流および共同学習」「地域連携」などがキーワードとして挙がっている。年度末には、例年通り今年度の学校評価を行い、評議員の皆様からご意見をいただきたい。

<学校評価部会>

○学校評価（中間評価）について *資料に沿って説明

1 教育課程 学習指導（教務グループリーダーより）

「学びの連続性」「学部間の系統性」「ICT活用」を中心に、資料に沿って説明した。

2 児童生徒指導・支援（教育推進グループリーダーより）

人権教育に係る内容（学校生活アンケート、携帯電話教室等）を中心に、資料に沿って説明した。

3 進路指導・支援について（連携支援グループリーダーより）

学部間の学びの系統表をもとにした授業実践を中心に、資料に沿って説明した。

4 地域との協働（連携支援グループリーダー）

「居住地交流」「ボランティア活用」を中心に、資料に沿って説明した。

5 学校管理学校運営（学部・分教室・施設訪問部等）（総務グループリーダー）

ヒヤリハット案件等を、すべての教員が自分事として捉えられるように対策を検討している。

6 学校管理学校運営（グループ）（総務グループリーダー）

今年度4年ぶりにプール指導を実施した。本校では過去に大きな事故があった。

今年度からプール管理委員会を立ち上げ、教科会（体育）と連携して、管理と運営について整理した。過去のプール事故に関する人権研修を実施した。今年度は事故なく終了できた。

【質疑など】 特になし。

○不祥事ゼロプログラム行動計画（中間検証）（副校長）

*資料に沿って説明

7月に校内研修会「アンガーマネジメント」をテーマに実施した。

今年度「体罰・不適切指導の防止」をメインに進めている。

最終検証は、次回の学校運営協議会で報告する。

【質疑など】 特になし。

<切れ目ない支援部会>

*PP資料に沿って説明（副校長）

伊志田高校との2校連絡会、伊志田高校との合同説明会、石田小学校との交流、成瀬コミュニティセンターでのインターンシップ実習、玉川小学校との交流、学校運営協議会委員による高等部の校内実習見学等が実施できている。今後とも、委員の皆様の連携をお願いします。

【質疑など】 特になし。

○人権教育研究指定校事業について（中学部長）

＊PP資料に沿って説明

「1. カリキュラム・マネジメントの推進」等で整理したA3資料の右側の実践状況について説明。

全教員が何かしらの項目に関わり、研究を進めている。

【質疑など】 特になし。

<安全防災部会>

＊資料「PTAだより 第1回ぼうさいまつり」に沿って、説明（総務グループリーダー）

PTA主催で、第1回ぼうさいまつりを実施（7/31）した。伊勢原市障害福祉課・危機管理課、伊勢原消防本部、東海大学と連携。今年度は本校保護者、兄弟児が参加。自治会長など、地域から数名が参加。次年度はさらに参加者を広げていきたい。

【感想】 委員

私も参加させてもらった。立派な企画だった。もっと早めに案内を回覧して、伊勢原市中から1,000人位来てもらいたい（最低500人）。とてもいい企画だった。

【意見】 委員

まずは無事に開催できたことに満足している。PTAの役員を集めることも大変なので、どうやって継続させていくかが課題である。今後ご協力をお願いします。

<意見交換・熟議>

【質問】 委員

校内に外国籍の方がどのくらいいるのか？ 私も普段文化の違いで戸惑うこともある。どのような対応をしているのか？

【回答】 教務GL

児童生徒本人が外国籍は1名。保護者が外国籍の方は学部ごとに数名。日本語学習が必要な児童生徒は学部に数名。英語、ベトナム、タガログ、スペイン語。

【質問】 委員

やりとりはどうしているのか？

【回答】 教務GL

保護者に関しては、翻訳者を面談時に呼んでいる。翻訳機はあまり使用していない。電話では簡単な言葉を使いうようにして、伝わりにくい時はスマホで言葉を調べて話している。

【質問】 委員

緊急時、災害時の対策はできているのか？

【回答】 教頭

英語が話せる教員はいる。ただし、現時点で対策は考えられていない。今後検討する必要がある。

【意見・質問】 委員

私どもも、入所施設であるため普段から人権（虐待、身体拘束など）を意識している。職員に対して、職員の人権意識調査を行っていなかったのが参考になった。

カリマネ等、細かく分かれていて整理されている反面、短い時間内に、内容を理解するには難しかった。

シチズンシップ等、わかりやすく、どのように生徒に説明しているのか？本日、教材等見せていただければより分かりやすかった。

【回答】 副校長

高等部と分教室では、社会の一員としての意識づけ、模擬投票について学んでいる。説明時は、ねらいを含めて、発達段階に応じた説明をしている。

【意見】 委員

普段の業務にプラスアルファで人権教育の取組みをしている。しっかりやっていたらいい。アンケート、項目例でも構わないので事前にいただければイメージしやすかった。アンケートの項目や内容を見させていただきたい。今後も実習見学などに協力していきたい。いいなと思ったところは、進路支援として小から高等部まで連続性のある指導をしているところ。保護者は小学部段階では不安感が強く、中学部段階で少しずつ分かり、そして高等部段階で進路を考える。ぶつ切りではなく、自立に向けて小学部から連携することで見通しが持て、就労への近道となる。頑張ってもらいたい。協力できるところは協力したい。

【回答】 副校長

アンケート用紙については、今後提示させていただきます。

【質問】 委員

職員向けのアンケートに関心がある。県のものを使ったのか？

【回答】 中学部長

学校で独自に作成したものです。

【質問】 委員

職員の人権感覚を磨くことを、本校も校内研修会で行っている。とても大事なことである。どんな活動をして、子どもがどう変容していくかを、参考に聞かせていただきたい。PP 資料

6 ページ「F. 他者との気づき～」の項目では、どんな実践例が集まったのか？

また、自己存在感について、指導の事例があれば知りたい。

石田小が関わる場所として、学期に数回分教室生徒と支援級児童と一緒に清掃活動を実施。高校生が自信をもって、優しく教えてくれている。小学生はかっこいいと思っている。

【回答】 総務GL

教員はそれぞれが日常的に自分の視点に関わったり、褒めたりしている。他の教員がしていることを、日々の日常生活で行っていることをまずは共有したい。「頑張っていること」「それでいいんだよ（自己存在感）」を見つけないかと思いついて整理している。研究をまとめていく段階で、整理したものを今後提示していきます。

子どもの変容については、PP 資料 7 ページ「2. 社会への～」の項目が当てはまります。教員向けに、実習を振り返ってもらい、確認していきます。今年度 2 回目の校内実習では、会社ごとにアピールポイントを立てて取り組んでいる。個人的には、教員は変わったと思う。大人が変わると子どもが変わる。子どもの変容は数値化できていないが、教員の振り返りの中に「子どもはどう変わりましたか」の項目を入れていきたい。

【意見】 委員

これだけの計画を実施することは大変だと思う。小学校では、中学校の姿がイメージしにくく、連携も難しい。取り組みを続けてほしい。数値化することは難しい。大事にしたいのは、子どもの姿をエピソードとして捉えること。それをみんなでも共有することが大事。今後も報告を聞かせてもらいたい。

< 事務連絡 >

副校長

次回 3 回目の学校評議員会は 2 月末を予定。事前に予定を伺い、設定させていただく。

本日伝え忘れたことやご質問などありましたら、意見書、別の書式、お電話でお知らせください。

校長

大量の事前資料、ご負担をおかけしました。人権教育を含め、我々気が付かない部分、外から教えていただきたい。気が付くいい機会です。職員会議で言葉では伝えているが、一歩進んで二歩後退するような普遍的なテーマである。今後も忌憚のない厳しいご意見いただければと思う。

本日はありがとうございました。

<p>教育課程 学習指導</p> <p>進路指導・ 支援</p> <p>地域との協働</p> <p>学校管理 学校運営</p> <p>不祥事ゼロ プログラム (中間検証)</p> <p>人権教育研究 指定校事業</p>	<p>○委員の「意見書」でお寄せいただいたご意見ご感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自立・社会参加できるよう、生徒一人ひとりに教え込むのは大変なことだと思います。 ・ 保護者は子どもの卒業後の進路が一番苦悩していると思います。在学中に生徒の特性に合わせ実践教育を多く積ませたい。 ・ 自立を目指すためには、在学中にいかに多くの実践を積むことにより自信をつけさせたい。 ・ 学習指導方針は完璧と思われます。 ・ 学校長以下、不祥事ゼロプログラム計画が進んでおり問題ありません。 ・ ぼうさいまつり、人権研修会は非常に良かった。今後の開催には、同和問題も加えると更に良いと思います。
---	---